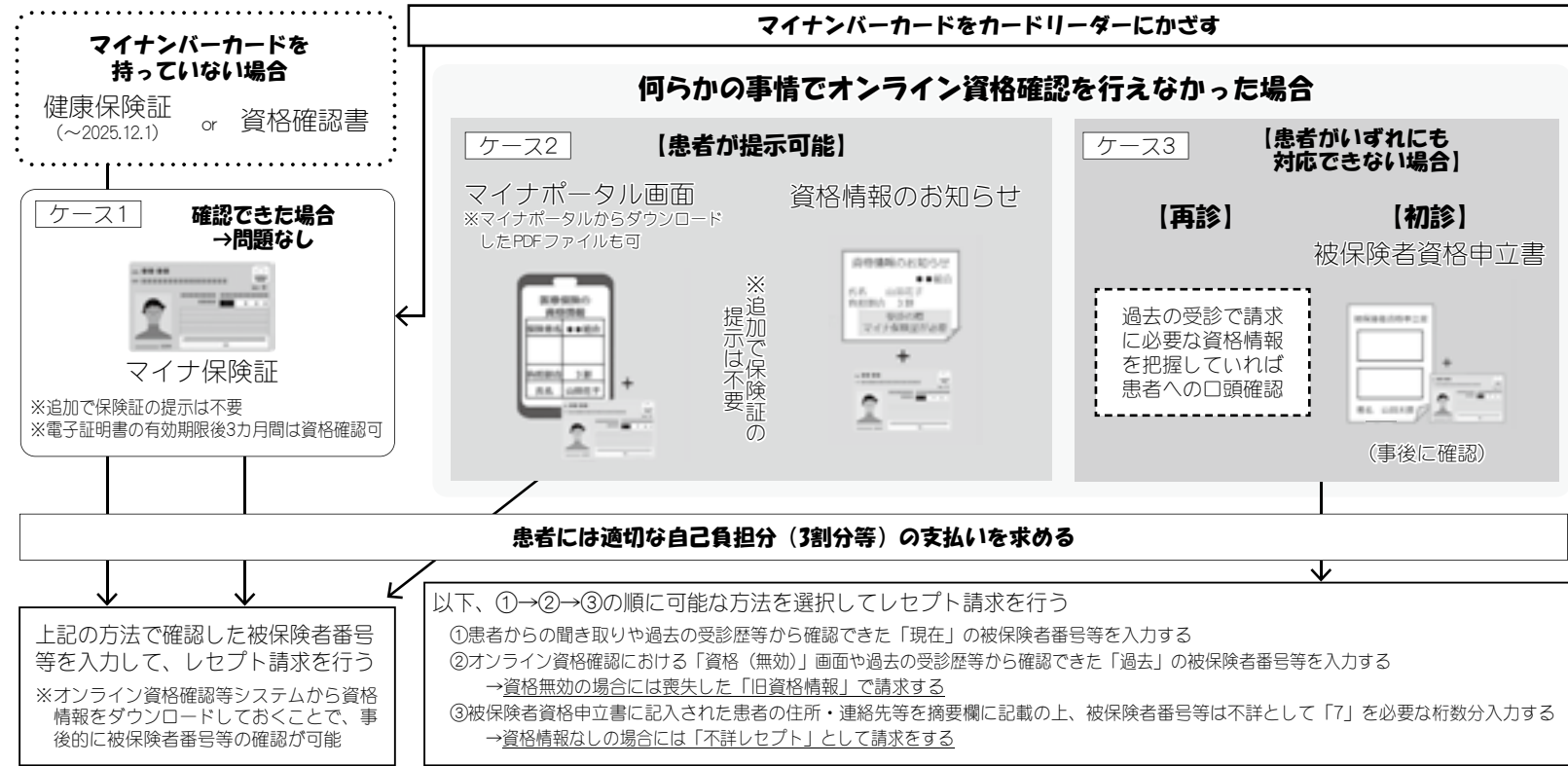


7月末以降保険証の経過措置が順次終了 診療の受付対応パターンは



政府は、2024年12月2日をもって従来の健康保険証を原則廃止。その後は最長1年間(今年12月1日まで)、経過措置として従来の健康保険証が使える運用となった。しかし、県下の市町村国保および後期高齢者医療制度における従来保険証の有効期限は今年7月末までとされており、8月以降は使用できなくなる。

ITに不慣れた後期高齢者には、資格確認書を全員に発行する対応を1年間行なう。

ただ、この「被保険者資格確認書」により、患者の自己申告での負担割合で徴収することとなる。なおこの申立書もマイナカードの提示が前提であることに注意が必要だ(ケース3)。

【紙レセプトの対応は】

紙レセプト請求の医療機関には、オンライン資格確認システムの導入は義務付けられていない。患者がマイナ保険証しか持っていない場合でも、上記のケース2またはケース3で対応できるため、高額な機器の導入は必ずしも必要ない。それでもなお資格確認が不安であれば、スマートフォンやタブレット端末などを使った資格確認の「簡易な仕組み(資格確認限定型)」を準備することもできる。

ただ、これには使用可能な機器の選定、医療機関等向け総合ポータルサイトでの利用申請やアプリのダウンロードおよびアクティベートの設定など、情報通信に関する相応の知識が必要となる。そのため対応する際には、信頼できる出入りの業者(ベンダーなど)や知人、オンライン資格確認コールセンター(080080804583...)通

来健康保険証が使える運用となった。しかし、県下の市町村国保および後期高齢者医療制度における従来保険証の有効期限は今年7月末までとされており、8月以降は使用できなくなる。

ITに不慣れた後期高齢者には、資格確認書を全員に発行する対応を1年間行なう。

ただ、この「被保険者資格確認書」により、患者の自己申告での負担割合で徴収することとなる。なおこの申立書もマイナカードの提示が前提であることに注意が必要だ(ケース3)。

【紙レセプトの対応は】

紙レセプト請求の医療機関には、オンライン資格確認システムの導入は義務付けられていない。患者がマイナ保険証しか持っていない場合でも、上記のケース2またはケース3で対応できるため、高額な機器の導入は必ずしも必要ない。それでもなお資格確認が不安であれば、スマートフォンやタブレット端末などを使った資格確認の「簡易な仕組み(資格確認限定型)」を準備することもできる。

ただ、これには使用可能な機器の選定、医療機関等向け総合ポータルサイトでの利用申請やアプリのダウンロードおよびアクティベートの設定など、情報通信に関する相応の知識が必要となる。そのため対応する際には、信頼できる出入りの業者(ベンダーなど)や知人、オンライン資格確認コールセンター(080080804583...)通

【紙レセプトの対応は】

紙レセプト請求の医療機関には、オンライン資格確認システムの導入は義務付けられていない。患者がマイナ保険証しか持っていない場合でも、上記のケース2またはケース3で対応できるため、高額な機器の導入は必ずしも必要ない。それでもなお資格確認が不安であれば、スマートフォンやタブレット端末などを使った資格確認の「簡易な仕組み(資格確認限定型)」を準備することもできる。

ただ、これには使用可能な機器の選定、医療機関等向け総合ポータルサイトでの利用申請やアプリのダウンロードおよびアクティベートの設定など、情報通信に関する相応の知識が必要となる。そのため対応する際には、信頼できる出入りの業者(ベンダーなど)や知人、オンライン資格確認コールセンター(080080804583...)通

【紙レセプトの対応は】

紙レセプト請求の医療機関には、オンライン資格確認システムの導入は義務付けられていない。患者がマイナ保険証しか持っていない場合でも、上記のケース2またはケース3で対応できるため、高額な機器の導入は必ずしも必要ない。それでもなお資格確認が不安であれば、スマートフォンやタブレット端末などを使った資格確認の「簡易な仕組み(資格確認限定型)」を準備することもできる。

ただ、これには使用可能な機器の選定、医療機関等向け総合ポータルサイトでの利用申請やアプリのダウンロードおよびアクティベートの設定など、情報通信に関する相応の知識が必要となる。そのため対応する際には、信頼できる出入りの業者(ベンダーなど)や知人、オンライン資格確認コールセンター(080080804583...)通



6月13日には浅尾慶一郎(自民・環境大臣)が、「医療・社会保障を巡る考察」国民皆保険を維持するためにすべきこと」をテーマに講演。湯浅副理事長が司会を務め、会場・WEB合計で46名の参

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。

保険料収入を増やし 医療財源確保を

自民党・浅尾慶一郎議員

掲示や声かけ等で丁寧な周知する必要がある。協会には今後も状況に応じたボスターやリーフレットなどを提供していく考えだ。

【資格確認書の全員発行求め各市町村に陳情提出】

健康保険証の廃止で医療機関窓口等でのトラブルが見込まれる中、医療情報部はマイナ保険証保有の有無にかかわらず国保の加入者全員に資格確認書の発行を求める陳情を、県内各市町村が現在開催する6月議会などに提出した。

これまでに当該陳情を正式に採択した自治体はないが、葉山町と南足柄市の2自治体のみが趣旨採択し、決定に実効性はない。

また市町村が国保加入者全員に資格確認書を発行し、医療機関側から説明することも、今後のトラブルを未然に防ぐ取り組みとして有効かもしれない。

また市町村が国保加入者全員に資格確認書を発行し、医療機関側から説明することも、今後のトラブルを未然に防ぐ取り組みとして有効かもしれない。

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。

【シリーズ時局講演会】医療運動部会は今夏の参議院選挙へ、時局講演会を開催した。現職の国会議員を招き、医療・社会保障について講演いただいた。詳細は次の通り(第1〜4弾は6月25日号に掲載)。※講演会の記事は、各政党及び講師に可否を確認した上で掲載を行っています。